



十月 (大)

かみなづき

神無月

十月八日寒露の節より
月命庚戌九紫火星の月
暗剣殺南の方

旧八月大
旧九月小

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	日出	月出	満潮	干潮
1日	日	かのと	九紫	北海道一般鳥獣狩解禁、労働衛生週間、法の日、共同募金、都民の日、旧八月大	十二	先勝	たつ	房	大みぞう	5.36	17.25	14.50	0.39
2日	月	みづのえいぬ	八白	京都北野天満宮瑞穂祭(1日~5日)	十三	友引	のぞく	心	母倉	5.36	17.24	15.29	1.36
3日	火	みづのと	七赤	亥の子餅、八せん終り	十四	先負	みつ	尾	ぢう日	5.37	17.22	16.06	2.07
4日	水	きのえ	六白	十五夜、里親デー、甲子	十五	佛滅	たいら	箕	天おん	5.38	17.21	16.42	3.36
5日	木	きのと	五黄	福島二本松提灯祭、達磨忌	十六	大安	さだん	斗	百事吉	5.39	17.20	17.18	4.38
6日	金	ひのえ	四緑	○望三時四〇分、三隣亡	十七	赤口	とる	牛	天おん	5.40	17.18	17.54	5.43
7日	土	ひのと	三碧	長崎くんち(9日迄)、一粒万倍日、不成就日	十八	先勝	やぶる	女	天おん	5.40	17.17	18.33	6.49
8日	日	つちのえ	二黒	寒露一、二時二二分、阿寒まりも祭	十九	友引	やぶる	虚	天おん	5.41	17.15	19.14	7.56
9日	月	つちのと	一白	世界郵便デー、国際文通週間、回体育の日、久留米高良大社例祭、己巳	廿	先負	あやぶ	危	母倉	5.42	17.14	20.00	9.04
10日	火	かのを	九紫	目的愛護デー、香川金刀比羅宮祭、大崎身代り不動尊認知症除、習慣病除、川崎三隣亡、一粒万倍日	廿一	佛滅	なる	室	母倉	5.43	17.13	20.50	10.10
11日	水	かのと	八白	神戸海神社祭、東京池上本門寺御会式	廿二	大安	おさん	壁	大みぞう	5.44	17.11	21.46	11.14
12日	木	みづのえ	七赤	○下弦二時二五分、横浜総持寺御正忌会、和歌山龍山神社祭、日蓮聖人忌、嵐雪忌、一粒万倍日	廿三	赤口	ひらく	奎	大みぞう	5.45	17.10	22.45	12.14
13日	金	みづのと	六白	貯蓄の日、伊勢神宮神嘗祭、日光東照宮秋祭	廿四	先勝	とる	箕	神よし	5.45	17.09	23.48	13.07
14日	土	きのえ	五黄	統計の日、東京靖国神社秋祭、東京浅草観音菊供養、小つち	廿五	友引	たつ	胃	くま日	5.46	17.07	—	13.55

この月の天候は、大陸方面の高気圧が、いつどれほどに発達するかにかかっている。例年より早ければ秋の長雨が早く明け、見られる。また、発達が遅い年は十月になってもまだ台風の心配があり、ぐずついた天候が続くであろう。また、「女心」と秋の空といわれるように、澄み切った青空が急変することが多いのである。晴れた日は、日中の温度がかなり昇り、夜冷え込むことが多く、気温の変化には十分注意したい。

【婚】十月の別称を「神無月」(旧暦十月)というが、これは、全国の氏神様がこの月に出生集まるので、氏神不在の月という伝説によるものである。出雲の神様は、縁結びの神で、一年のうちこの月に、全国の神がそこに集まるのは、話し合いの中に男女の縁を取り決めることも含まれているためといわれている。

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	日出	月出	満潮	干潮
15日	日	きのと	四緑	新宮熊野速玉大社祭、天理石上神官例祭、姫路暗暁祭、不成就日	廿六	先負	のぞく	昴	ちう日	5.47	17.06	—	20.34
16日	月	ひのえ	三碧	愛媛新居浜太鼓祭	廿七	佛滅	みつ	畢	月とく	5.48	17.05	1.54	21.14
17日	火	ひのと	二黒	貯蓄の日、伊勢神宮神嘗祭、日光東照宮秋祭	廿八	大安	たいら	觜	十し	5.49	17.03	2.56	21.50
18日	水	つちのえ	一白	統計の日、東京靖国神社秋祭、東京浅草観音菊供養、小つち	廿九	赤口	さだん	参	●	5.49	17.02	3.57	22.23
19日	木	つちのと	九紫	東京日本橋べつたら市、京都建勲神社船岡祭	三十	先勝	とる	井	神よし	5.51	17.01	4.57	23.27
20日	金	かのを	八白	土用四時〇六分、朔四時二二分、皇后誕生日、えびす講、誓文払い、不成就日、旧九月小	朔	先負	やぶる	鬼	天おん	5.52	17.00	5.56	23.57
21日	土	かのと	七赤	宇都宮二荒山神社例祭	二	佛滅	あやぶ	柳	天おん	5.52	17.00	6.53	—
22日	日	みづのえ	六白	京都平安神宮時代祭、京都鞍馬の火まつり、三隣亡、一粒万倍日	三	大安	なる	星	神よし	5.52	16.57	7.50	12.12
23日	月	みづのと	五黄	霜降一四時二七分、電信電話記念日	四	赤口	おさん	張	天おん	5.54	16.56	8.45	12.42
24日	火	きのえ	四緑	風連の日、十方ぐれ入り	五	先勝	ひらく	翼	大みぞう	5.55	16.55	9.39	13.12
25日	水	きのと	三碧	伊賀上野天神祭、一粒万倍日	六	友引	とる	軫	神よし	5.56	16.54	10.30	13.44
26日	木	ひのえ	二黒	原子力の日、宮崎神宮例祭、天理教本部秋季大祭	七	先負	たつ	角	母倉	5.57	16.53	11.18	14.21
27日	金	ひのと	一白	読書週間(11月9日迄)	八	佛滅	のぞく	亢	大みぞう	5.58	16.52	12.03	15.18
28日	土	つちのえ	九紫	○上弦七時三二分、速記記念日、旧重陽、不成就日	九	大安	みつ	氏	ぶく日	5.59	16.50	12.45	16.09
29日	日	つちのと	八白	福岡香椎宮秋季例祭	十	赤口	たいら	房	十し	6.00	16.49	13.25	17.26
30日	月	かのを	七赤		十一	先勝	さだん	心	●	6.01	16.48	14.09	18.13
31日	火	かのと	六白	世界勤儉デー	十二	友引	とる	尾	くま日	6.02	16.47	14.37	19.35

【葬】薬石の効なく、または不慮の災厄にあつたり、たとえそれが眠るような長寿の大往生……であつても、現世と冥界の別れは必ず一足はあつたといはれ、悲しくつらいものである。儀式までの手配は次のようである。

◇死者を北枕にする。(兼通入滅の姿にならう)

◇目を閉ざし、手を胸の上に組むように形をととのえる。

◇神棚や仏壇を閉ざし、忌中の半紙を戸口に貼る。

◇死亡のことを近親や寺に知らせる。

◇葬儀の打ち合わせ。

◇葬儀社への交渉。

◇湯灌、納棺の準備及び納棺。

◇死亡通知の作成。祭壇の作成。

◇お通夜。

◇告別式、一般焼香。

【祭】「体育の日」は、昭和三十一年東京オリンピック開催を記念して「スポーツに親しみ、健康な心身をつちかう」趣旨により定められた。(十月第一日曜日)